

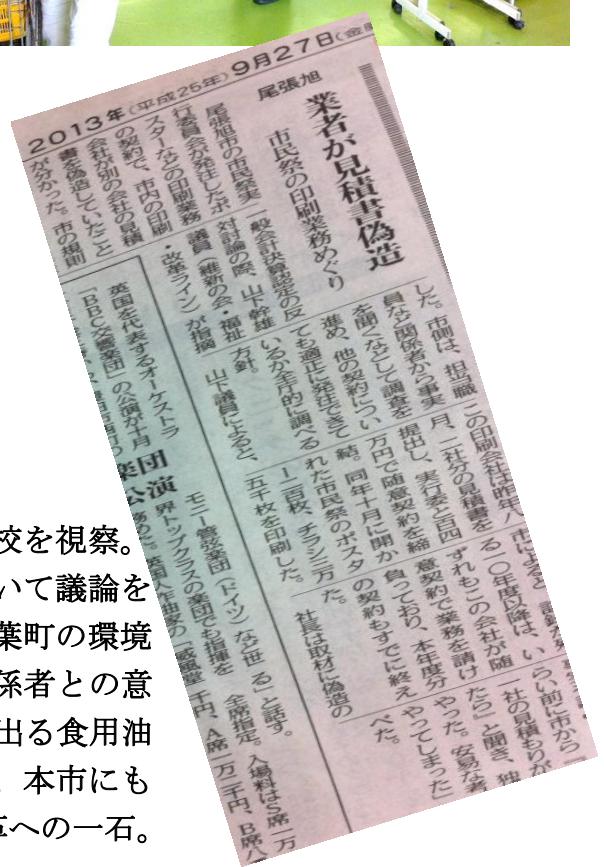
尾張旭市議会 会派通信 維新の会・福祉・改革ライン

明日を見つめ
市民の幸せを守る
是々非々集団

発行所 尾張旭市議会 維新の会・福祉・改革ライン（交渉会派）<第 8 号>
〒488-8666 愛知県尾張旭市東大道町原田 2600-1 内北館 4 階(会派室)
編集責任者：山下幹雄 0561-52-4344 Email:yamamiki1192@gmail.com

市民視点の行動と議論！ 駆け巡る熱血議員団

「山下幹雄・花井守行・松本和夫」



左上：川南保育園の仮園舎受入れを決めた瑞鳳小学校を視察。関係者に対し、課題の拾い出しなど受入れ態勢について議論を進めた。右上：リサイクル広場の活性をテーマに稲葉町の環境事業センターを視察。リサイクル品減少状況等、関係者との意見交換を。左下：委員会視察では、BDF（家庭から出る食用油の排油を精製し、自動車の燃料にする）施設を視察。本市にも採用をよびかけた！右下：本会議での指摘により行革への一石。

維新の会・福祉・改革ラインの政策や活動など、詳しくはフェイスブックページで！
<http://www.facebook.com/ishinnokai>





福祉文教委員長に就任 「花井守行 議員」(2期)

平成25年度の福祉文教委員長を拝命しました。

大役ですが、これまで体験した福祉現場での声なき弱い立場の方々の代弁者となれるよう、一心不乱に頑張ります。

誰ひとり悲しむことのないまち、しょうがいのある方々から見える街並み。それが、誰もが暮らしやすいまちへの最大のヒントです。この考え方がぶれることなく、今後も市政運営をしっかり審査し、チェック機能としての「議員」の役割を果たしていきます。 花井守行

「松本和夫 議員」(1期) 総務委員会・決算特別委員会・議会あり方検討会所属

議員生活3年目を迎えます。昨年10月より会派に所属し、自分なりに活動にも幅が出てきたと感じています。本年度は、常任委員会の他に決算特別委員会、議会あり方検討会、議会報告会実行委員会と多岐にわたる所属を頂き、よりフレキシブルな議員活動を経験させていただいている。そうした中においても、改革マインドを忘れず市民視点で発言していきます。

あり方検討会では、議員定数の削減、議員報酬カットなど今後の本市財政状況を見据えた改革案を提示し議論を進めています。 松本和夫



「山下幹雄 議員」(3期) 都市環境委員会・議会運営委員会・議会広報委員会所属



本年度も会派の代表を務めさせていただいている。

先般、7月1日より会派名を変更させていただきました。所属議員で今後の方向性など、とことん話し合い、政策に懸ける情熱は今までと何一つ変わっていない事を確認したうえ、新たなる飛躍を誓い会派名の変更を決断しました。私の所属政党移籍については、各種ご疑問やご批判もあるかとは存じますが、政治を志す者の一人として自らの信念に従った決断でした。今後、市民の皆様には丁寧な説明をさせていただくよう隨時心掛けていきます。地方議員ではありますが、国を想う気持ち、市民国民を想う気持ちを忘れず「曲げずに」「直に筋を通す事を続けたい・・その一途です。どうぞ、心ある皆様のご理解を深くお願い申し上げる次第です。 山下幹雄

9月定例議会最新情報！（議案賛否・討論）

9月定例会では、本年度の補正予算案において川南保育園の園舎内装改修工事を、急遽変更し建替え工事とする事が審議された。3240万円の予算組であったが、来期からの工事費用を含めれば3億円近くが予測される。我が会派では、年度途中での方向転換に対し、本会議における議案質疑を実施して計画性の甘さを指摘した。また、建替え以外の方法についても瑞鳳小学校の仮園舎利用計画期間を延長し、新たな保小一体の施設による子育て施策を試してはどうかと提案もさせていただいた。瑞鳳小学校は、最大800人を



超す生徒数があった。しかし、現在では全校370人程となり半減。もちろん空き教室も多く抱えている。立地は、隣接する都市公園もあり保育にも絶好の環境といえるだろう。3000万円以上の

費用をかけトイレ改装、保育園用出入り口、全保育室冷暖房設備の設置を予定している。財政の効率性からみてもこの校舎を活かすべきではないだろうか。

写真（上）

（仮）川南保育園の出入り口。芝生の園庭や送迎スペースが予定されている。

写真（右）
保育園の遊戯室



（ホール）が予定されている空き教室。

現保育園ホールの2倍ほどの広さが確保される。

この案件を含む補正予算案は、賛成多数で可決されたが、我が会派としては今こそ英知を結集させ新しい行政モデルに対し、果敢に挑戦することを訴えた。

3000万円対3億円というお金の話だけでなく、少子化対策、施設の効率化、年少教育と言った観点から市民の皆さんにも、是非考えていただきたい。。

平成25年度尾張旭市一般会計補正予算(第2号)

【反対討論】山下幹雄議員

川南保育園関連の内、建替え工事設計委託料2700万円の新規予算立について、計上の再検討を求める。瑞鳳小学校の効率活用をもう少し時間をかけて検討すべき。老朽化した園舎からの退避、十分な保育スペース、都市公園に隣接する良好な立地、更には空き室利用による行政の知恵を生かした財政の効率化、一つ屋根の下の保小一体型という斬新な特徴を持った施策には、大きな可能性を秘めており今日の行政課題への布石と成り得る。

平成24年度尾張旭市一般会計歳入歳出決算

認定について

【反対討論】山下幹雄議員

尾張旭まつり実行委員会負担金、市民祭分の使途におけるPR費の印刷契約において不正な契約が認められた。本来、2社以上を指名し見積もり依頼をするところ1社のみで実施。また、持ち込まれた競合相手の見積書は偽造であった。この行為は、永年にわたり行われていた疑いがある。承知でこの行為を容認していたのかは、調査の必要がある。負担金の使途に、不正が発覚した以上本案の承認をすることはできない。（賛成多数可決）

陳情第4号 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市独自の授業料助成制度を求める陳情

【賛成討論】山下幹雄議員

私立高等学校は、魅力ある校風を創り上げている。そして、尾張旭市から通学可能な私立高等学校は30校以上あり、その魅力に引かれ、進学を夢する生徒も多くいる。しかし、今日の格差社会の経済状況は、多くの子育て世代家庭の教育費をも圧迫している。子どもたちの行きたい学校から行ける学校への選択を迫られる状況を見たとき、これほど残念なことはない。この子たちも尾張旭市民。町の宝。市独自の助成制度によって少しでも支援をすべきだ。（賛成少数否決）

「維新の会・福祉・改革ライン会派通信」は毎定例議会後に発行しています。
これからも「維新の会・福祉・改革ライン」にご期待ください！

個人一般質問を実施

山下幹雄議員

- ①リサイクル広場の現状と今後について
- ②待機児童の実態と対応のあり方について
- ③SNS 活用による情報提供について

花井守行議員

- ①小学校で、しうがい等の疑いがある児童とご家族を支援する仕組みについて
- ②中学校で、しうがい等の疑いがある生徒とご家族を支援する仕組みについて
- ③発達支援センターを学校内に設置し、生涯に渡る一貫した支援ができる仕組みについて
- ④「しうがい」に関する相談窓口の一本化について
- ⑤いじめをなくす具体的な方法について

松本和夫議員

- ①市役所正面玄関口の段差について
 - ②ふるさと納税について
 - ③近隣住民同士の対話づくりに市条例等の制定を
 - ④し尿収集業務に関する当市の対応について
- ※詳細については、市議会だより第 200 号（11 月 15 日）、市議会ホームページをご覧ください。

次回 12 月定例会のご案内

月日	会議等
11 月 28 日	12 月定例会(初日)
12 月 3 日	12 月定例会(一般質問)
12 月 4 日	12 月定例会(一般質問)
12 月 5 日	12 月定例会(一般質問)
12 月 9 日	福祉文教委員会
12 月 10 日	都市環境委員会
12 月 11 日	総務委員会
12 月 16 日	議会運営委員会
12 月 17 日	12 月定例会(最終日)

上記の日程は予定であり、変更されることがあります。

ぜひ傍聴にお越しください。
インターネット中継・録画もあります。

新コーナー【話題の焦点】大喜利

政務活動費とは

連日、県会議員の政務調査費不正受給が新聞記事になっていますね。愛知県会議員の政務調査費上限は、なんと月額 50 万円年間 600 万円です。（名古屋市議会も同額）それ以外に

報酬として月額約 87 万円（通年は 97 万 7000 円ですが今年は 11% カット中）、ボーナス約 372 万円、年間合計 1415 万円程度のお金をもらっているわけです（議長副議長を除く）。こうした中、割と多くの市民が十把一握の内にそれぞれの地方議員に対しても、ご不審を抱いているのではないかと感じます。しかし、実態として尾張旭市議会の政務活動費は、月額 12,500 円年間 15 万円です。因みに我が会派は、報酬 2 割削減案提出（不採択）後、ここ 2 年政務活動費は、全額返却しています。理由は、本市の財政状況の勘案と議員の仕事の明確化です。私たちは、生活給と政務活動費の区分をしっかりとすべきだという主張をしています。その内訳として、生活給（現報酬）は約 700 万円から全国的な各種平均値を勘案し 560 万円へ、その代わり年間 15 万円の政務活動費を 40 万円程度にし、市民に見える形で仕事をしようというものです。現状、活動費名目では載いていませんが、現地調査、市内外・県外の視察調査・会派報の発行、会派単独議会報告会と実施してきました。市民県民の生活や福祉の向上の為に必要な経費は、税金で使わせて頂ければいいと思いますが、職員の給料をごまかして受け取るとか、個人のお付き合いの会費を税金で賄っていた事には驚きです。

「維新の会・福祉・改革ライン会派通信」は毎定例議会後に発行しています。
これからも「維新の会・福祉・改革ライン」にご期待ください！